

令和3年度 第2回 新潟市都心のまちづくり推進本部会議

次 第

日時 : 令和3年9月2日(木) 14時～
会場 : 秘書課 第2会議室

1. 本部長挨拶
2. 都心のまちづくりの方向性について
3. 関係団体等からのご意見・ご提案と取り組みの方向性について
4. その他

<配布資料>

- 資料 1 都心のまちづくり【「にいがた2km」の覚醒】
- 資料 2 関係団体等から頂いた主なご意見・ご提案について
- 資料 3 関係団体等から頂いたご意見・ご提案と取組の方向性について

1. 本市の現状・課題

- ① 若い世代の東京圏流出と人口減少
- ② 災害に強いまちづくり
(建物の老朽化・旧耐震)
- ③ オフィス床の不足
- ④ 新潟駅周辺整備事業の進展
- ⑤ 都心エリアで民間開発の兆し

2. 時代の要請

- ① ウィズコロナ・アフターコロナへの対応
- ② SDGs (持続可能な開発目標)の実現
- ③ ゼロカーボンの推進
(脱炭素社会の実現)
- ④ デジタル化の進展

「選ばれる都市 新潟市 (ウィズコロナ・ポストコロナ時代のまちづくり)」の実現

『訪れたいまち』・『ビジネスを展開するまち』

- 新たな都心軸 (にいがた2 km) を、「にいがたの背骨」として、『**緑あふれ、人・モノ・情報が行き交う活力あるエリア**』に発展
- 都心の成長エネルギーを市全域へ波及させ、本市の拠点性をさらに向上

3. 取り組みの基本方針

- 関係団体・企業等からまちづくりに関する意見を聴取
- 新潟市都心のまちづくり推進本部を通じ、取り組みの基本方針を整理

都心のまちづくりの基本方針 三本の柱

- I. 人・モノ・情報の中心基地となる 稼げる都心づくり
- II. 都心と8区の魅力・強みのコラボレーションによる 新たな価値の創造
- III. 居心地が良く、人が主役になるまちづくり

4. 基本方針における推進項目

基本方針

I. 人・モノ・情報の中心基地となる 稼げる都心づくり

官民協働による「稼げる都心づくり」を推進し、その成長エネルギーを全市域へ波及。

推進項目

- ① 都市機能の更新・充実に向けた都心部の再開発促進
(都市再生緊急整備地域の活用)
- ② 戦略的な企業誘致の推進
- ③ 産業DX、ICT推進の先進エリアとしての取組強化
- ④ 歴史・文化・スポーツを通じた賑わいの創出
- ⑤ 観光資源を活かした交流人口の拡大

基本方針

II. 都心と8区の魅力・強みのコラボレーションによる 新たな価値の創造

都市と田園が調和する本市の魅力発信と、異業種間の協業・変革を進め、次世代に向けたまちづくり。

推進項目

- ① 「新潟の食と花」の魅力発信
- ② 「儲かる農業」の推進
- ③ 新たな価値やビジネスが創出される環境づくり
- ④ 観光資源を活かした交流人口の拡大【再掲】

基本方針

III. 居心地が良く、人が主役になるまちづくり

都市緑化の推進、道路空間・水辺空間の有効活用など、ゆとりと潤いのあるまちづくり。

推進項目

- ① 信濃川やすらぎ堤の魅力をも十分に活かした賑わいの創出
- ② くつろげる 歩いても楽しい都市空間の実現
- ③ 良好な都市景観の形成

都心のまちづくり推進本部では、官民連携して知恵・情報・力を結集し、魅力あるまちづくりを進めていくため、令和3年5月に約100の関係団体・企業等からお話を伺いました。下記は、そこで頂いた約300のご意見・ご提案を「都心のまちづくりの方向性 3本の柱」ごとに整理したものです。

I. 人・モノ・情報の中心基地となる 稼げる都心づくり

【都市再生緊急整備地域の指定】

- 都市再生緊急整備地域の指定の効果
を最大限発揮できるよう官民連携で
の取組を推進

【企業誘致の推進】

- 本社機能や起業への支援制度を拡充
すべき
- 市外企業へのPRの充実をはかるべき
(良質なIT人材、暮らしやすさなど)

【就職・就労の支援】

- 就職・就労支援の充実に向けた検討
(外国人留学生も含む)

【都心エリアにおけるICTの 推進】

- にいがた2kmエリアに、
フリーWi-Fi、5G環境を広げ、
ビジネス展開しやすいまちづくりを
- まちなかでのドローン物流の推進
など先端技術を活用するエリアと
しての取組を強化していくべき
- デジタル技術を活用したデータ収集
方法を導入し、まちづくり施策や
ビジネス展開へ繋げてはどうか
(例：モバイル空間統計やデジタル
サイネージカメラ等)

【歴史的建造物の保全・活用の 推進】

- 古町の歴史ある景観や歴史的建造物
の保全に対する支援を望む
(助成金や規制緩和)
- 古い建築物の活用や町内行事の再興
など市民団体等への支援も行って
いくべき

【文化の育成・発信】

- 芸妓など料亭文化に加え、アニメ
マンガ、演芸など、更なる文化の
育成を
- 新潟でしか見られないものを新潟の
人たちで作って発信していく必要性が
あるのでは

【スポーツを通じた賑わい創出】

- 都心エリアでスポーツイベントを
実施してはどうか
- ランニングステーションや自転車
専用道路など、スポーツの視点に
よる環境整備を検討すべき
- アルビ戦の観客を都心エリアに
呼び込む仕掛けづくりについて

【観光資源を活かした交流人口 の拡大、戦略的な情報の発信 など、観光施策の充実】

- 北前船、古町花街、齋藤家別邸、
旧小沢家、みなとぴあ等の観光資源
を活かし、交流人口の拡大を図って
はどうか
- 都心エリアにおける情報発信拠点を
整備してはどうか
- デジタル媒体も活用し、
プロモーションの強化を図るべき
- MICEの更なる推進を図るべき
- まち歩きや観光ツアーの充実化を
図るべき

【新潟まつりの見直し】

- 新潟まつりのあり方、充実化に
向けた検討

【国際交流都市としての 質の向上】

- 外国語のアナウンスや案内表示の
充実化
- 都心に多種多様な人が集まり交流や
生活相談やビジネスも展開できる
「交流スペース」の設置を
- 外国人と市民、地域がつながる
イベントの開催など

【商店街の活性化】

- 西堀ローサ、ルフル広場、
モールなどの特徴を活かした
賑わいの創出を
- 魅力的な店づくりや空き店舗対策、
商店街の連携といった活性化への
きっかけづくりとなる支援をして
はどうか

【福祉・健康部門のDX化・ 高齢者にやさしいまち】

- ICTを活用した福祉・健康事業の
推進
- 都心でも安心やお互い様がある
まちづくりを

【万代島地区の賑わい創出】

- 日本海フェリー、佐渡汽船ターミ
ナルからの動線の整備
- 朱鷺メッセを郊外からの集客の
玄関口と位置付け、朱鷺メッセ
から市内各所の魅力的な集客施設
へアクセスさせる方策を検討して
ほしい
- 大かまをもっと有効利用すべき

【空き家対策】

- 下町エリアは高齢者が多く空き家
が多い。何らかの活用により、
賑わいの創出や地域の活性化に
つなげてはどうか

Ⅱ. 都心と8区の魅力・強みの コラボレーションによる新たな 価値の創造

【「新潟の食と花」に関する 集客・PR・販売力の強化 など】

- 食文化を体感できる集客施設を整備してはどうか
- 都心エリア内で農産物直売所の設置やマルシェの開催など、ショーケース機能を持たせPRを強化しては
- EC販売やアプリでの商品発注・受領の仕組みづくりを検討してはどうか
- 専門学校・大学・小学校等との連携による食文化の推進
- 各協会や料理人の連携・協力で各種イベントの更なる充実を

【儲かる農業の推進】

- ICTを活用したスマート農業の推進（施設管理、事業・技術承継、販売促進等）
- IT事業者と農業事業者のマッチングの場を

【企業連携プラットフォームの 構築】

- 企業間が連携し共創する場「プラットフォーム」づくりを推進

Ⅲ. 居心地が良く、人が主役になるまちづくり

【信濃川の景観とやすらぎ堤の 活用】

- 「信濃川の景観とやすらぎ堤の水辺空間」を徹底活用し、「水の都にいがた」として都市ブランディングへ繋げるべき

【ウォーカブルシティ・ 都市緑化の推進】

- 賑わい創出には、人がゆっくり歩いて、くつろげる、楽しい空間づくりが重要。2 kmエリアは車を抑制し歩行者中心にしてはどうか（歩道拡幅や歩行者天国など）
- 店先のカフェテラス、マルシェ、キッチンカー、イベント開催など、道路空間を活用した賑わい創出とそのため規制緩和を検討すべき
- 民有地も含めた都市緑化を推進していくべき。また、緑化に様々な人が参画できる仕組みづくりを
- 景観ガイドラインに緑化に関する記載を盛り込んでどうか

【良好な景観の形成に向けて】

- 良好な景観形成の視点で統一感のある、わかりやすいサイン・看板の設置を促進するべき
- ユニバーサルデザインを踏まえたサイン整備を推進するべき

【シェアサイクルの促進・ 新たなパーソナルモビリティ の導入等】

- シェアサイクルを持続可能なシステムとするための行政支援を望む
- 電動キックボードなど、新たなパーソナルモビリティの導入により移動性の向上を
- 駅前駐輪場を有料化することできれいな駐輪場として運営してはどうか

【公共交通の利便性向上】

- にいがた2 km内のバスを特別料金にできないか
- 都心軸からの二次交通のあり方を検討すべき
- 運行情報等のアプリ配信やMaaS推進を検討すべき
- バス、JR、タクシー、水上バスの連携を強化すべき
- AI制御、電動駆動、エコエンジニアリング、LRTなど次世代を見据えた公共交通を検討すべき

【都心部の駐車場について】

- 駅周辺・古町の小規模コインパーキング乱立の解消
- 大規模な立体駐車場を整備し、周辺ビル・店舗と連携
- 無料駐車場の整備

その他

【「にいがた2 kmの 情報発信マネジメント】

- にいがた2 km内の様々な情報（各エリアの魅力・取り組み、イベント等）を集約し、一括して発信していく仕組みを構築すべき
- デジタルコンテンツも積極的に活用してはどうか

【にいがた2kmを盛り上げて いく官民連携のエリアマネジ メントの推進】

- 持続可能な官民連携エリアマネジメントの仕組みづくりが重要（官民の役割分担、エリマネ団体の人材・財源確保策としての規制緩和など）

関係団体等から頂いたご意見・ご提案と取組の方向性について

資料2「関係団体等から頂いた主なご意見・ご提案」を踏まえ、資料1の「取り組みの基本方針」及び「推進項目」に沿って、取組の方向性を検討しました。そのうち、本資料では、下記ア～ウに該当するものを記載しています。

【掲載している主な取組】

- ア 新たな都心軸「にいがた2km」の取組として新規性のあるもの
- イ これまでの取組を拡充することにより、「にいがた2km」の活性化につながるもの
- ウ 比較的短時間で実現可能性の高いもの

I. 人・モノ・情報の中心基地となる 稼げる都心づくり

～官民協働による「稼げる都心づくり」を推進し、その成長エネルギーを全市域へ波及～

主なご意見・ご提案		検討事項	取組の方向性
①都市機能の更新・充実に向けた都心部の再開発促進（都市再生緊急整備地域の活用）			
高度な機能を備える都心形成を推進するとともに、脱炭素社会の推進や防災力の向上など安心安全な都心づくりを目指します。			
都市政策部	<ul style="list-style-type: none"> ●都市再生緊急整備地域の指定の効果を最大限発揮できるよう官民連携での取り組みを推進 	<ul style="list-style-type: none"> ①開発の進め方について検討 ②行政支援について 	<ul style="list-style-type: none"> ①② <ul style="list-style-type: none"> ・都市再生緊急整備地域の活用により、都心の再開発が促進されるようパンフレット「新潟都心地域の目指す姿」・「新潟都心地域開発ガイドライン」を作成し、活用していく。 ・再開発補助制度の新設を検討する。
②戦略的な企業誘致の推進			
魅力ある雇用の場の創出はもとより、立地支援制度の新設・拡充により、国内外の企業から「選ばれる都市」の実現を目指します。			
経済部	<ul style="list-style-type: none"> ●本社機能や起業への支援制度を拡充すべき ●市外企業へのPRの充実をはかるべき（良質なIT人材、暮らしやすさなど） 	<ul style="list-style-type: none"> ①主にIT企業誘致の支援充実に向けた検討 ②スタートアップ支援の充実に向けた検討 	<ul style="list-style-type: none"> ①IT企業等が活用できる補助制度の新設・拡充を検討する。 ②創業にかかる補助制度の新設・拡充を検討する。
③産業DX、ICT推進の先進エリアとしての取組強化			
DXの促進やICTの活用を積極的に支援することで、新事業の創出や高付加価値化の取組を促進します。			
経済部	<ul style="list-style-type: none"> ●にいがた2kmエリアに、フリーWi-Fi、5G環境を広げ、ビジネスを展開しやすいまちづくりを ●まちなかでのドローン物流の推進など先端技術を活用するエリアとしての取組を強化していくべき ●デジタル技術を活用したデータ収集方法を導入し、まちづくり施策やビジネス展開へ繋げてはどうか（例：モバイル空間統計やデジタルサイネージカメラ等） 	<ul style="list-style-type: none"> ①5G環境の整備、5Gを活用した新たなビジネス創出への支援 ②企業のDX推進 ③スーパーシティ構想の検討 ④ドローンを活用した新たなビジネス創出への支援 	<ul style="list-style-type: none"> ①新潟市産業振興センター内に開設する5Gビジネスラボの利用を促進・活用する。 ②DXプラットフォーム参画企業による既存プロジェクトの推進や、新規プロジェクトの随時立ち上げを推進する。 ③スーパーシティ構想の実現に向けて検討する。 ④DXプラットフォームの物流DXプロジェクトを推進する。

主なご意見・ご提案	検討事項	取組の方向性
④歴史・文化・スポーツを通じた賑わいの創出		
みなとまちの歴史・文化を活かした魅力の創出や、文化創造と発信の推進、スポーツによる賑わいの創出を図ります。		
都市政策部 ●古町の歴史ある景観や歴史的建造物の保全に対する支援を望む（助成金や規制緩和） ●古い建築物の活用や町内行事の再興など市民団体等への支援も行っていくべき	① 文化遺産をはじめとする歴史的建造物の保護（保存と活用）	① ・地域再生計画に基づく「まちなみ整備なじらね協定促進事業」に継続的に取り組む。 ・古町花街地区の特別区域指定に向け関係者との連携、合意形成を図る。 ・歴史的建造物の維持、活用に向けた規制緩和を検討する。 ・歴史的建造物の文化財指定・新規登録を促進する。
文化スポーツ部 ●芸妓など料亭文化に加え、アニメマンガ、演芸など、更なる文化の育成を ●新潟でしか見られないものを新潟の人たちで作り発信していく必要があるのでは	① 芸妓などの料亭文化のほか、アニメや演芸など地元住民も引き付ける文化の育成 ② クリエイティブな人材育成のしくみづくり ③ 新潟でしか見られないものを新潟人が作り発信 ④ マンガアニメをはじめ、新潟市が誇る文化コンテンツの磨き上げと発信力の強化 ⑤ がたふえすやゲームなどによるまちなかの活性化	①②③ 古町の活性化に向け、空き家・空き店舗を活用したクリエイティブ人材の集積を進め、文化ベンチャーの育成・発信につながる仕組みづくりを検討する。 ④⑤ ・がたふえすにARやVRなどの最新技術を取り入れることで、さらなるマンガアニメのまちの発信につながるよう検討する。 ・地方から質の高い文化を創造、発信していく持続的な仕組みづくりを検討する。
文化スポーツ部 ●都心エリアでスポーツイベントを実施してはどうか ●アルビ戦の観客を都心エリアに呼び込む仕掛けづくりについて	① アルビレックスとのコラボによる、新潟独自色の発信と誘客の仕掛け ② 「にいがた2km」周辺施設とのイベント連携や異業種協力 ③ 新潟シティマラソンの継続・充実	① 情報発信と誘客の仕掛け ・一部実施済みのフラッグPRの拡大、連携を検討する。 ・民間主体でのPR連携を推進する。 ・「にいがた2km」情報発信との連携を検討する。 ② 実験検証 ・R3マラソンイベントでストリート陸上を試行し、今後の実施を検討する。 ・異業種を含む民間との連携を検討する。 ③ 新潟シティマラソン ・「シティマラソン」の再開を目指す。 ・コース見直しは中長期課題として検討する。

主なご意見・ご提案	検討事項	取組の方向性
⑤観光資源を活かした交流人口の拡大		
観光資源を最大限に活用するとともに、様々な媒体による情報発信やMICEの推進などにより、交流人口の拡大を図ります。		
<p>観光・国際交流部</p> <ul style="list-style-type: none"> ●北前船、古町花街、齋藤家別邸、旧小沢家、みなとびあ等の観光資源を活かし、交流人口の拡大を図ってはどうか ●都心エリアにおける情報発信拠点を整備してはどうか ●デジタル媒体も活用しプロモーションの強化を図るべき ●MICEの更なる推進をはかるべき ●県内及び近県自治体との連携を強化すべき ●クルーズ船誘致により観光需要を喚起できないか 	①北前船、古町花街、みなとびあ等の観光資源を活かした交流人口の拡大	①既存の観光資源を最大限に活用し、新潟駅から萬代橋、古町をみなとまちの風情を感じながら、人々が活発に往来するエリアとなるよう官民一体で取り組む。
	②都心エリアにおける情報発信拠点の整備	② ・既存の万代、古町の情報発信スポットの有効活用を推進する。 ・新しくなる新潟駅構内に整備予定の新・観光案内所の機能充実を図る。
	③デジタル媒体を活用したプロモーションの強化	③ ・ARやVRを活用したデジタルコンテンツの導入及び観光情報の提供方法について検討する。
	④MICEの更なる推進	④ ・ウィズコロナ・ポストコロナ時代に対応した支援制度によりMICE誘致を推進する。
	⑤県内及び近県自治体との広域連携	⑤ ・県内自治体及び近県と連携し、テーマやターゲットを意識した誘客プロモーションを継続する。 ・特に佐渡市については、世界遺産登録を見据えて連携を強化していく。
	⑥クルーズ船誘致	⑥感染状況を見極めながら、まずは国内船社、次に海外船社と段階的にセールスを再開し、寄港を誘致していく。
⑥その他		
<p>経済部</p> <ul style="list-style-type: none"> ●西堀ローサ、ルフル広場、モールなどの特徴を活かした賑わいの創出を ●魅力的な店づくりや空き店舗対策、商店街の連携といった活性化へのきっかけづくりとなる支援をしてはどうか 	①魅力あるイベント実施による来客者数の向上、にぎわい創出	①魅力あるイベントによるにぎわい創出を推進する。 ①③地域再生計画に基づく新潟市古町地区魅力創造支援補助金による魅力的なコンテンツの創出を推進する。
	②複数商店街の連携、連動した取り組みの実施	②他の商店街との連携可能性の模索・協議・実施に対する支援を検討する。
	③魅力的なお店の創出	③ ・経営手法の見直し、業態転換等の検討を促進する。 ・新規の創業に対する支援を行う。 ・地域再生計画に基づくまちなみ整備ならぬ協定促進事業の活用を図る。

Ⅱ. 都心と8区の魅力・強みのコラボレーションによる新たな価値の創造

～都市と田園が調和する本市の魅力発信と、異業種間の協業・変革を進め、次世代に向けたまちづくり～

主なご意見・ご提案	検討事項	取組の方向性
①「新潟の食と花」の魅力発信		
関係者のネットワークを強化し、本市の強みである食と花の魅力を内外に発信します。		
農林水産部 ●都心エリア内で農産物直売所の設置やマルシェの開催など、ショーケース機能を持たせPRを強化しては。 ●専門学校・大学・小学校等との連携による食文化の推進。 ●各協会や料理人の連携・協力で各種イベントの更なる充実を。	①食と花のイベント ②食と花の関係者との連携	①食と花の関係者参加型イベント開催（各区生産者・料理人・学生による2kmエリアでの定期マルシェ）に向けて検討する。 ②食と花の関係者ネットワークづくりを推進する。 （生産・販売・料理人・学校など食と花の関係者によるネットワークづくり）
②儲かる農業の推進		
スマート農業やフードテック・アグリテックの取組みを進め、新たな付加価値を創出することで、「儲かる農業」を推進します。		
農林水産部 ●ICTを活用したスマート農業の推進（施設管理、事業・技術承継、販売促進等） ●IT事業者と農業事業者のマッチングの場	①ICTを活用したスマート農業の推進 ②IT事業者と農業事業者のマッチングの場	① ・スマート農業の推進に向けた施策拡充を検討する。 ・国、県、関係団体を含めた農業DXの検討会設置を進める。 ② ・アグリテック企業へ農業者を紹介する取組みを進め、本市の強みである食や農を活かした「フードテック・アグリテック」をさらに推進する。 ・DXプラットフォーム会員と若手農業事業者とのマッチングを推進する。 ・フードテック・アグリテック事業の拡充を検討する。 ・DXプラットフォーム事業の拡充を検討する。
③新たな価値やビジネスが創出される環境づくり		
多様な企業や人材、技術やデータなどをつなぐプラットフォームの構築により、イノベーションの創出を図ります。		
経済部 ●企業間が連携し共創する場「プラットフォーム」づくりを推進	①企業間連携、産官学連携の推進	① ・地域や企業間でAI・5Gを活用した新事業を推進するために、市内外企業が意見交換できるプラットフォームの利用を促進する。 ・スタートアップエコシステムの形成に向けた取り組みを進める中で、フードテックに関係する様々な主体や商品・サービスが集まる場の必要性や必要とされる機能について検討する。
④観光資源を活かした交流人口の拡大【再掲】		

Ⅲ. 居心地が良く、人が主役になるまちづくり

～都市緑化の推進、道路空間・水辺空間の有効活用など、ゆとりと潤いのあるまちづくり～

主なご意見・ご提案	検討事項	取組の方向性
①信濃川やすらぎ堤の魅力をも十分に活かした賑わいの創出		
多様な水辺資源を活かし、賑わいを創出するとともに、人が集いゆったりと過ごせる魅力的な水辺空間の形成を図ります。		
都市政策部 ●「信濃川の景観とやすらぎ堤の水辺空間」を徹底活用し、「水の都にいがた」として都市ブランディングへ繋げるべき	①「信濃川やすらぎ堤等の水辺空間」を徹底活用 ②水辺空間周辺の都市ブランディング	①信濃川やすらぎ堤や、万代テラスなど水辺空間の賑わい創出を推進する。 ② ・官民連携エリアプラットフォームの構築によりエリア全体での魅力と価値向上を図る。 ・かわ・みち・みなとの連携・広報強化（大河津分水路の100周年と関屋分水通水50周年の記念事業との連携）を図る。 ・信濃川沿岸地区：より質の高い景観を形成するための景観計画の見直しを検討する。 ・市民との協働による花と緑の空間の創出について推進する。
②くつろげる 歩いても楽しい都市空間の実現		
都心の緑化や道路空間の再構築、多様な交通手段による回遊性の向上など、居心地の良い人中心のストリートの形成を目指します。		
都市政策部 ●賑わい創出には、人がゆっくり歩いて、くつろげる、楽しい空間づくりが重要。2kmエリアは車を抑制し歩行者中心にしてはどうか（歩道拡幅や歩行者天国など） ●店先のカフェテラス、マルシェ、キッチンカー、イベント開催など、道路空間を活用した賑わい創出とそのため規制緩和を検討すべき ●民有地も含めた都市緑化を推進していくべき。また、緑化に様々な人が参画できる仕組みづくりを ●景観ガイドラインに緑化に関する記載を盛り込んでどうか	①人中心のウォーカブルな空間づくり ②公共空間利活用の推進（歩行者天国、店先のカフェテラス、マルシェ、キッチンカー、イベント開催など） ③歩いて楽しい景観づくり ④ウォーカブルを支える都市機能の向上 ⑤「にいがた2km」の緑化推進	①人中心のウォーカブルな空間づくりを推進する。（道路のリデザイン、ベンチの設置など滞在空間の確保、地下空間の利活用、ウォーカブルに資する駐車場施策の展開） ②制度の周知と活用、戦略的な仕組みづくり ・都市再生推進法人の可能性を広げるための施策展開を検討する。 ・ほこみち制度の設計及び活用を検討する。 ・民間主導イベント等の道路、公園等公共空間での実施を検討する。 ③ウォーカブル推進区域の指定による景観づくりを検討する。 ④ ・まちなかでのベンチやトイレの設置（改修を含む）について検討する。 ・ユニバーサルデザインの推進（横断歩道の新設、歩道橋の平面化）を図る。 ・公衆喫煙所の適正配置を検討する。 ⑤民有地の緑化を支援する制度の創設を検討する。
都市政策部 ●シェアサイクルを持続可能なシステムとするための行政支援を望む ●電動キックボードなど、新たなパーソナルモビリティの導入により移動性の向上を	①新潟駅、白山駅、古町を中心としたシェアサイクル（サイクルポート）の設置 ②観光地へのアクセス、周遊 ③にいがた2kmから東西方向へのアクセス・回遊性 ④移動性・回遊性の向上に資する新たなモビリティの導入	①②③ にいがた2kmを中心に高機能シェアサイクル（GPS電動車両かつキャッシュレス決済による無人管理型シェアサイクル）の導入可能性を検討する。 ④まちなかにおける移動性・回遊性の向上を図るため、新たなモビリティの導入可能性を検討する。

主なご意見・ご提案		検討事項	取組の方向性
都市政策部	<ul style="list-style-type: none"> ●にいがた2km内のバスを特別料金にできないか ●都心軸からの二次交通のあり方を検討すべき ●運行情報等のアプリ配信やMaaS推進を検討すべき ●バス、JR、タクシー、水上バスの連携を強化すべき 	①にいがた2km内のバス料金の特別化	①にいがた2km等における買い物やイベント需要に対応した土・日・祝日限定のワンコインバスの導入可能性を検討する。
		<ul style="list-style-type: none"> ②ICTの活用、MaaSの推進 ③公共交通と商店街・観光施設の連携 ④カーシェアリングの推進 	②③④ICTの活用、MaaS等の推進に係る事業者の動向に合わせ、広報等の適切な後方支援を実施していく。
③良好な都市景観の形成			
良好な景観形成に向けた取組を推進するとともに、ユニバーサルデザインにも配慮したまちづくりを進めます。			
都市政策部	<ul style="list-style-type: none"> ●良好な景観形成の視点で統一感のある、わかりやすいサイン・看板の設置を促進すべき ●ユニバーサルデザインを踏まえたサイン整備を推進すべき 	①看板の規制等による統一感のある街並みづくり	①新潟駅・万代地区将来ビジョンの検討や景観ガイドラインの作成に向けた取り組みを進める。
		②交通拠点として、外国人などにも配慮したサイン関係の整備	②外国人などにも配慮し、QRコードの活用などわかりやすく使いやすい新たなサイン整備を推進する。

その他.

主なご意見・ご提案	検討事項	取組の方向性
<p>① 「にいがた2km」の情報発信マネジメント</p>		
<p>にいがた2kmの魅力や取り組みを集約し、効果的に情報発信することで、更なる賑わいとまちづくりへの参画機運を醸成します。</p>		
<p>都市政策部</p> <ul style="list-style-type: none"> ●にいがた2km内の様々な情報（各エリアの魅力・取り組み、イベント等）を集約し、一括して発信していく仕組みを構築すべき。 ●デジタルコンテンツも積極的に活用してはどうか。 	<p>① 「にいがた2km」の情報発信プラットフォームやデジタルコンテンツの活用について検討</p>	<p>①</p> <ul style="list-style-type: none"> ・まちづくりへの期待感やワクワク感などの機運醸成を図るため、「にいがた2km」の情報を集約・発信する体制や、デジタルコンセプト・メディア戦略等の総合的なコーディネートについて検討する。 ・にいがた2kmの情報を効果的かつ効率的に発信するため、にいがた2km内のイベントをパッケージ化した広報やAR・VRを活用したデジタルコンテンツの導入などについて検討する。
<p>②官民連携によるエリアマネジメントの推進</p>		
<p>多様な主体がまちづくりに参加しやすい環境づくりを推進し、官民連携による持続可能なエリアマネジメントを進めます。</p>		
<p>都市政策部</p> <ul style="list-style-type: none"> ●持続可能な官民連携エリアマネジメントの仕組みづくりが重要（官民の役割分担、エリアマネジメントの人材・財源確保策としての規制緩和など） 	<p>①企業・団体、新潟市など官民連携によるエリアマネジメントの推進、イベントの実施</p> <p>②官民連携による持続可能なエリアマネジメントを実現するための屋外広告物規制の緩和</p> <p>③官民連携による持続可能なエリアマネジメントを実現するための公共空間の利活用の推進</p>	<p>①</p> <ul style="list-style-type: none"> ・官民連携エリアプラットフォームの構築および事業の推進を図る。 ・都市再生推進法人によるエリアマネジメントの推進を図る。 <p>②</p> <ul style="list-style-type: none"> ・エリア広告を可能とする屋外広告物条例の改正を検討する。 ・都市再生推進法人による特例制度の活用を検討する。 <p>③</p> <ul style="list-style-type: none"> ・歩行者利便増進道路制度（ほこみち制度）の活用を検討する。 ・新・万代広場のエリアマネジメントの導入を検討する。 ・エリアを象徴する通り名（愛称）の設定を検討する。